

令和 3 年 11 月 22 日

第 3 回登米市水道料金及び下水道使用料等あり方検討委員会

登米市下水道事業の現状



登米市上下水道部

目 次

1	現状分析	1
1.1	総事業費	1
1.2	処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率	8
1.3	処理水量、有収水量、有収率	14
1.4	損益	20
1.5	下水道使用料	44
1.6	起債償還額	45
1.7	一般会計繰入金	51
1.8	固定資産の状況	57
1.9	貸借対照表	58
1.10	職員数	61
2	下水道事業の課題	62
2.1	施設面の課題	63
2.2	経営面の課題	67
2.3	課題のまとめ	71

※ 文中及び表中で使用している事業名について

各下水道事業については、本文及び表中で以下の略称を用いている。

単独公共下水道事業	：単独公共
特定環境保全公共下水道事業	：特環公共
農業集落排水事業	：農集排
特定地域生活排水処理事業	：特定排水
個別生活排水処理事業	：個別排水

1 現状分析

平成 28 年度から令和 2 年度までの決算統計データを元に、経営及び財務状況の推移を整理する。

1.1 総事業費

令和 2 年度末までに費やした総事業費は約 110.530 百万円であり、そのうち農集排が約 40,513 百万円と最も多い。

総事業費の使途としては管渠費が最も多く、全体の約 72%を占め、次いで処理場費が約 18%となっている。

総事業費の財源としては地方債が最も多く、全体の約 45%を占め、次いで国庫補助金が約 39%となっている。

表 1.1 総事業費

(単位：百万円)

項 目		全事業	単独公共	特環公共	農集排	特定排水	個別排水
総事業費		110,530	35,926	31,956	40,513	1,992	143
建設財源	国庫補助金	43,386	13,289	12,260	17,256	581	0
	地方債	49,335	17,044	16,120	15,005	1,039	127
	受益者負担金	2,729	1,084	868	594	171	12
	その他	15,081	4,509	2,708	7,659	201	4
建設使途	管渠費	79,711	27,673	26,943	25,095	0	0
	ポンプ場費	1,756	729	0	1,027	0	0
	処理場費	20,141	7,201	3,784	9,156	0	0
	浄化槽費	2,135	0	0	0	1,992	143
	流域下水道建設費負担金	561	0	561	0	0	0
	その他	6,226	323	668	5,235	0	0

【全事業】

総事業費：110,530 百万円

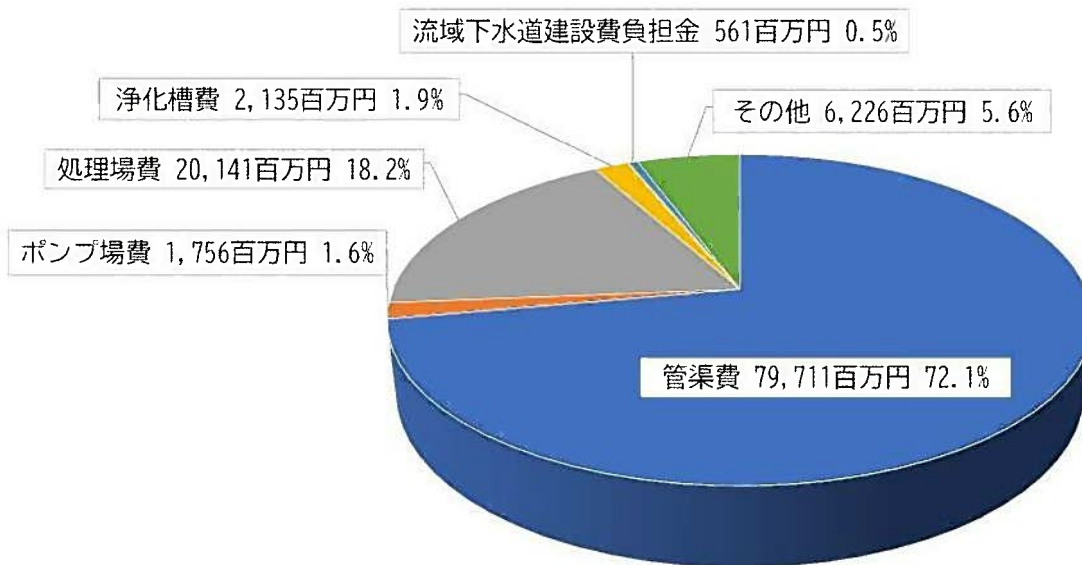


図 1.1 建設使途内訳 (全事業)

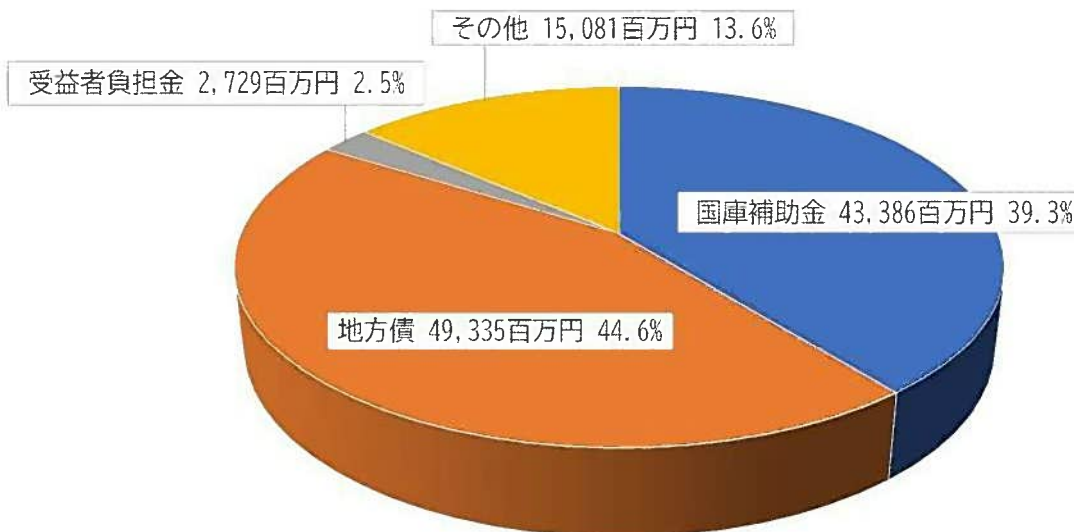


図 1.2 建設財源内訳 (全事業)

【単独公共】

総事業費：35,926 百万円

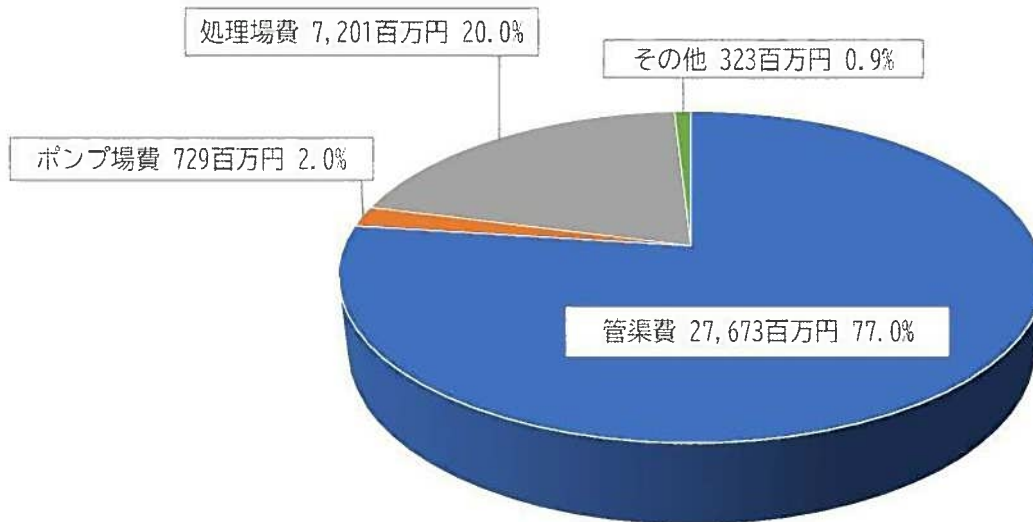


図 1.3 建設用途内訳 (単独公共)

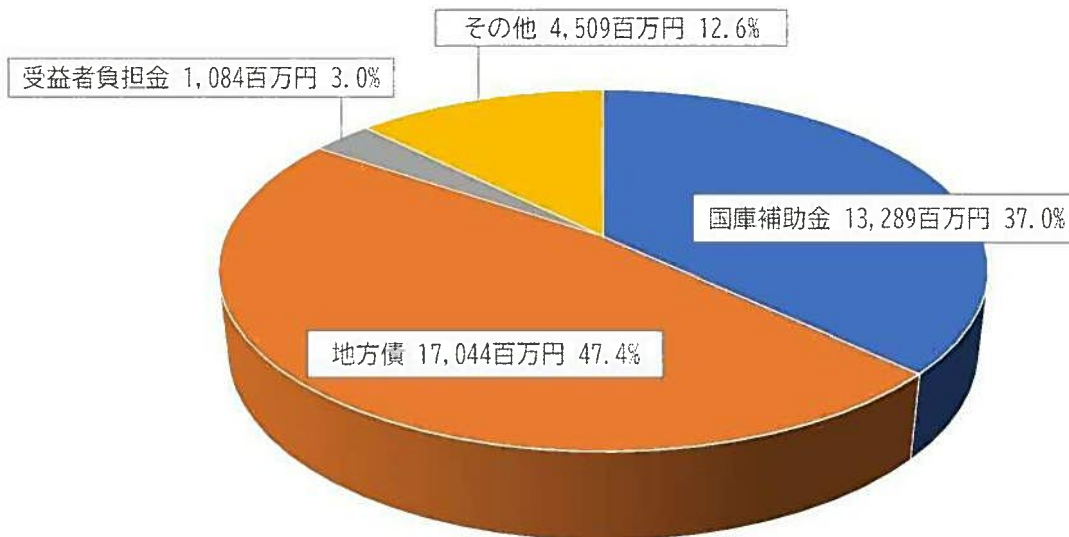


図 1.4 建設財源内訳 (単独公共)

【特環公共】

総事業費：31,926百万円

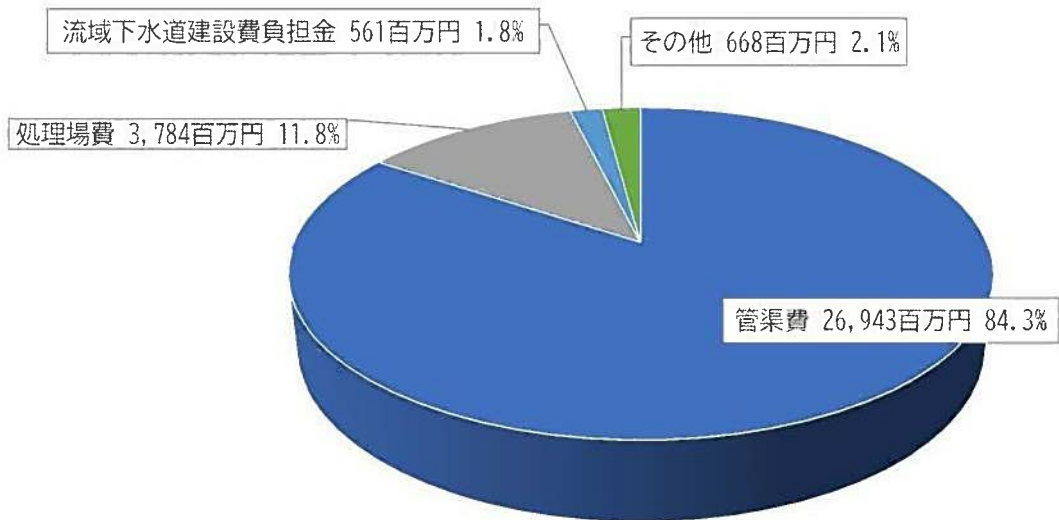


図 1.5 建設使途内訳 (特環公共)

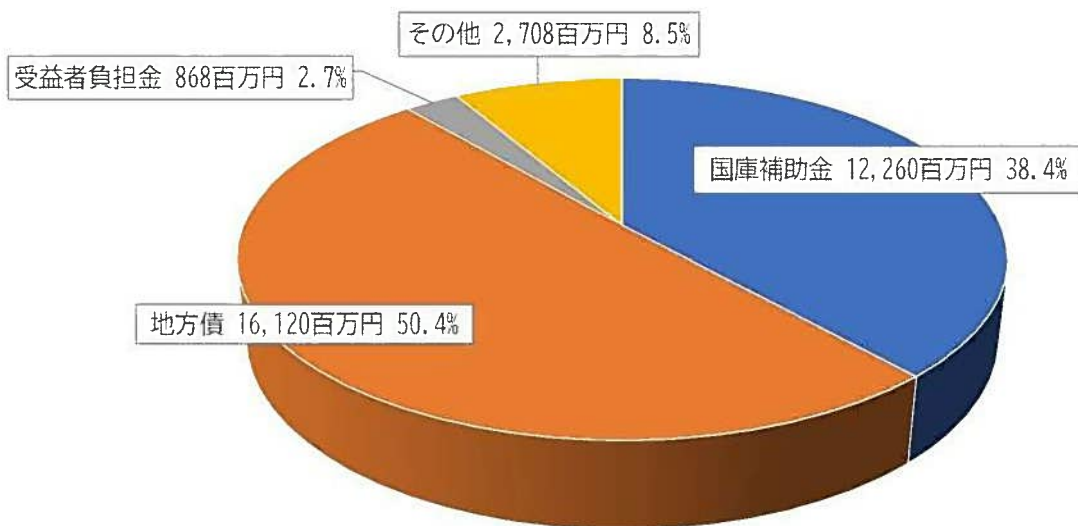


図 1.6 建設財源内訳 (特環公共)

【農業集落排水】

総事業費：40,513 百万円

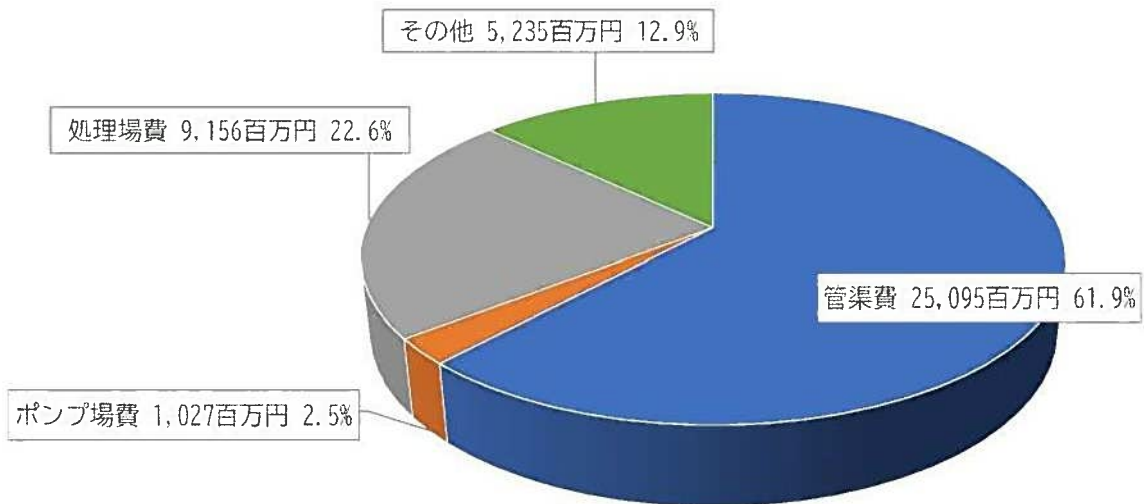


図 1.7 建設用途内訳（農集排）

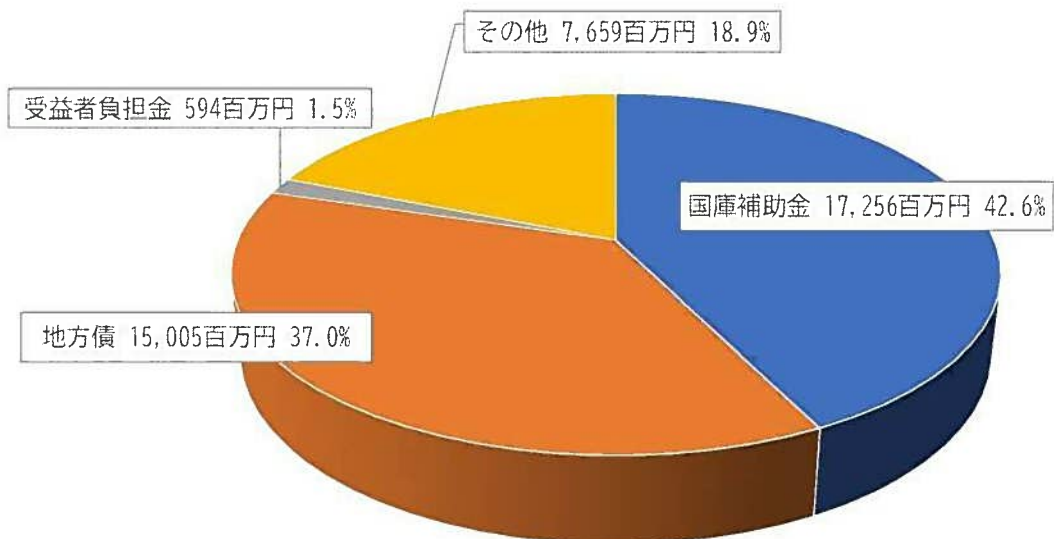


図 1.8 建設財源内訳（農集排）

【特定排水】

総事業費：1,992百万円



図 1.9 建設用途内訳 (特定排水)



図 1.10 建設財源内訳 (特定排水)

【個別排水】

総事業費：143 百万円



図 1.11 建設用途内訳 (個別排水)

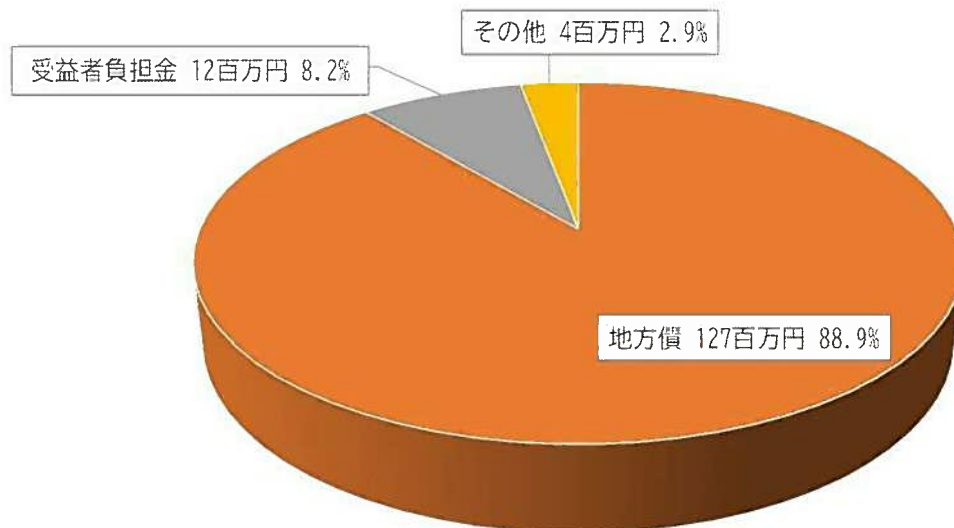


図 1.12 建設財源内訳 (個別排水)

1.2 処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率

登米市集計資料による H28 年度から R2 年度までの処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率を示す。

【全事業】

処理区域内人口は減少傾向にあるが、水洗化人口は増加傾向にある。

このため、水洗化率は増加傾向にある。

表 1.2 処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率（全事業）

（単位：人）

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
行政人口	81,511	80,476	79,417	77,959	76,912
処理区域内人口	61,289	61,082	60,862	60,164	59,929
水洗化人口	47,754	48,195	48,577	48,754	48,929
水洗化率 ①	58.6%	59.9%	61.2%	62.5%	63.6%
水洗化率 ②	77.9%	78.9%	79.8%	81.0%	81.6%

※ 水洗化率①＝水洗化人口／行政人口

※ 水洗化率②＝水洗化人口／処理区域内人口

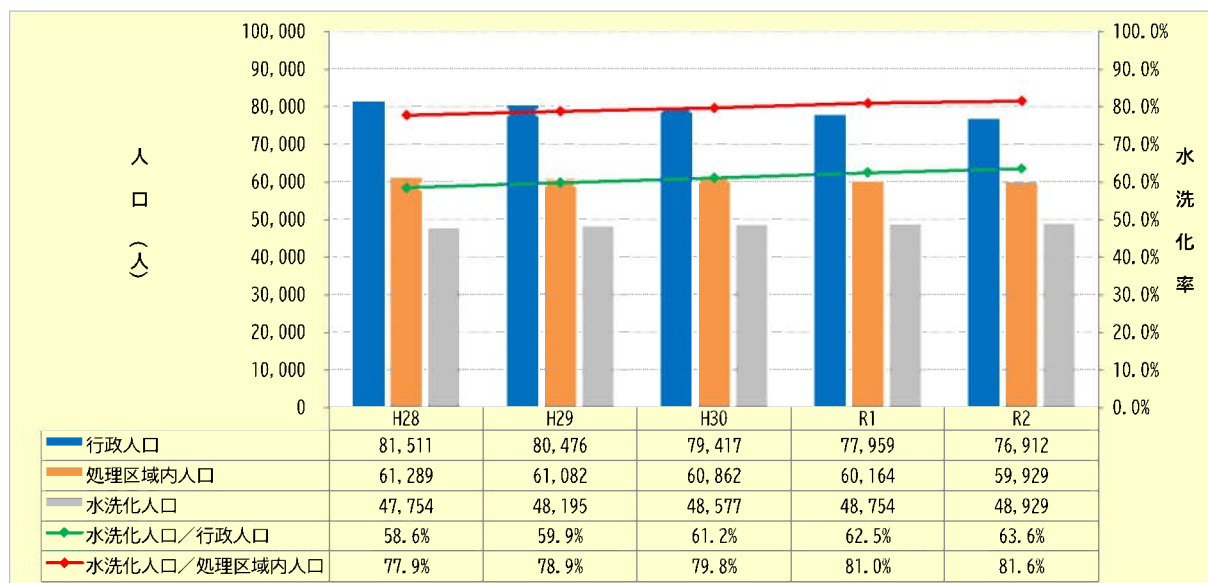


図 1.13 処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率（全事業）

【単独公共】

処理区域内人口は大きな変化は無いものの、水洗化人口は増加傾向にある。
このため、水洗化率は増加傾向にある。

表 1.3 処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率（単独公共）

（単位：人）

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
行政人口	81,511	80,476	79,417	77,959	76,912
処理区域内人口	18,412	18,362	18,474	18,247	18,445
水洗化人口	14,027	14,131	14,337	14,404	14,653
水洗化率 ①	17.2%	17.6%	18.1%	18.5%	19.1%
水洗化率 ②	76.2%	77.0%	77.6%	78.9%	79.4%

※ 水洗化率①＝水洗化人口／行政人口

※ 水洗化率②＝水洗化人口／処理区域内人口

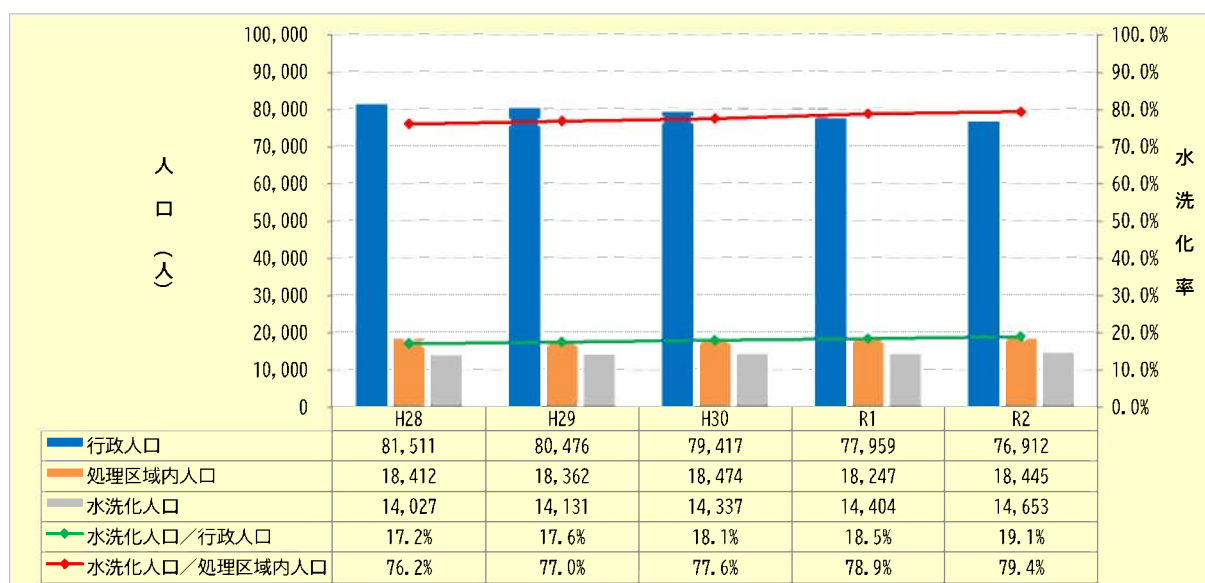


図 1.14 処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率（単独公共）

【特環公共】

処理区域内人口、水洗化人口とも減少傾向にあるが、減少幅が異なるため、水洗化率は増加傾向となっている。

表 1.4 処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率（特環公共）

（単位：人）

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
行政人口	81,511	80,476	79,417	77,959	76,912
処理区域内人口	17,954	17,818	17,582	17,244	16,979
水洗化人口	13,036	13,110	13,162	13,139	13,075
水洗化率 ①	16.0%	16.3%	16.6%	16.9%	17.0%
水洗化率 ②	72.6%	73.6%	74.9%	76.2%	77.0%

※ 水洗化率①＝水洗化人口／行政人口

※ 水洗化率②＝水洗化人口／処理区域内人口

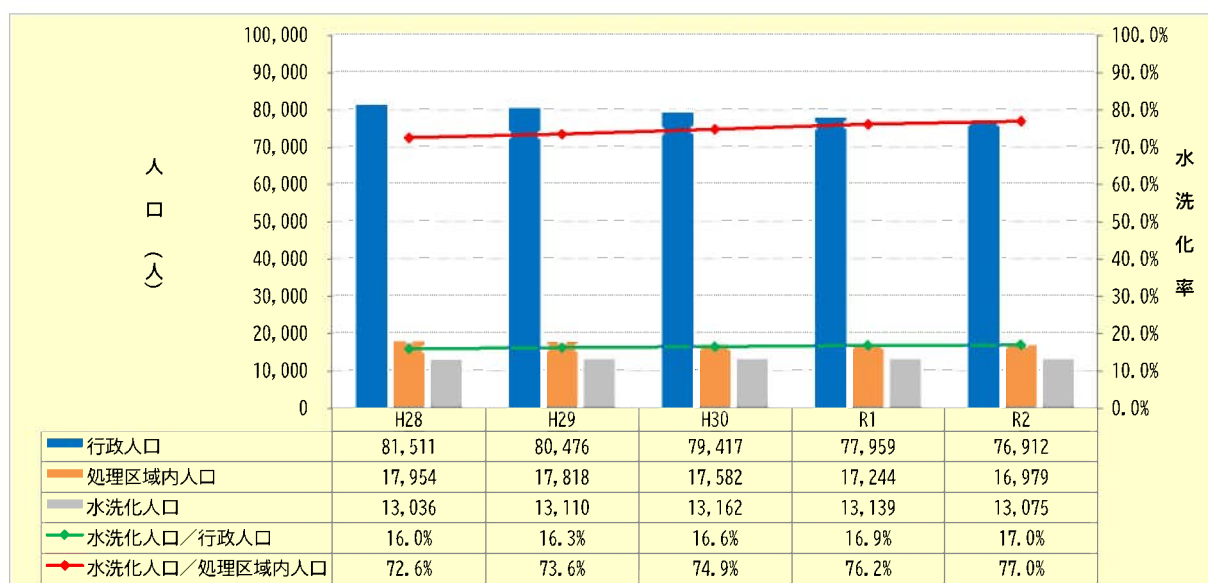


図 1.15 処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率（特環公共）

【農業集落排水】

処理区域内人口、水洗化人口とも減少傾向にあるが、減少幅が異なるため、水洗化率は増加傾向となっている。

表 1.5 処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率（農集排）

(単位：人)

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
行政人口	81,511	80,476	79,417	77,959	76,912
整備済人口	18,753	18,446	18,155	17,832	17,538
水洗化人口	14,547	14,524	14,457	14,400	14,234
水洗化率 ①	17.8%	18.0%	18.2%	18.5%	18.5%
水洗化率 ②	77.6%	78.7%	79.6%	80.8%	81.2%

※ 水洗化率①＝水洗化人口／行政人口

※ 水洗化率②＝水洗化人口／処理区域内人口

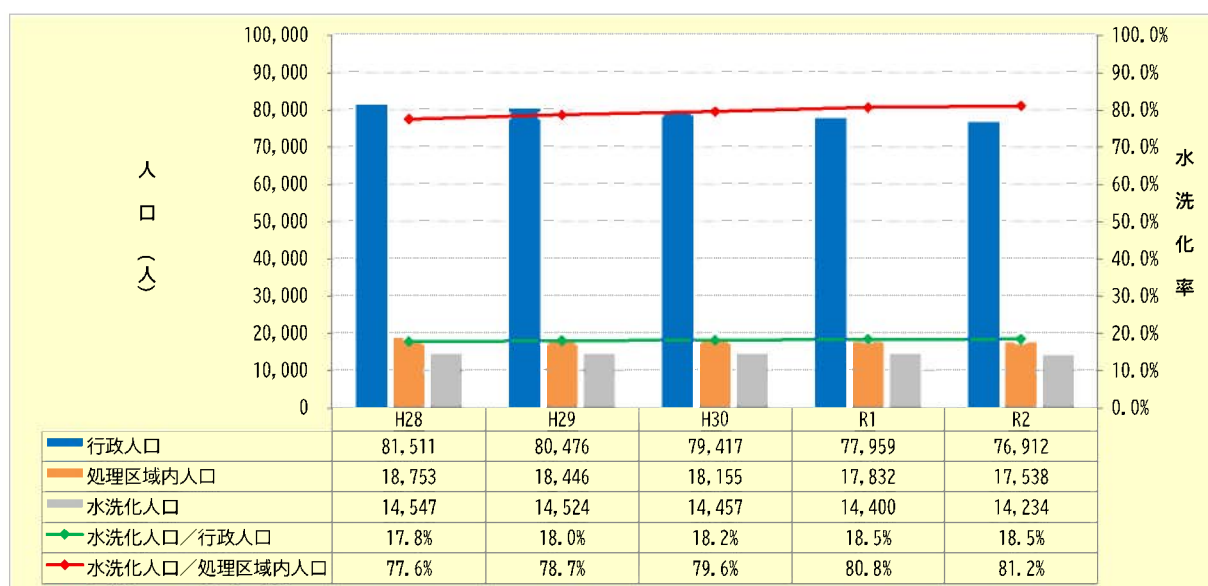


図 1.16 処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率（農集排）

【特定排水】

浄化槽整備が継続中のため、処理区域内人口、水洗化人口とも増加傾向にある。
設置を希望する住民への浄化槽設置であるため、水洗化率は100%である。

表 1.6 処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率（特定排水）

（単位：人）

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
行政人口	81,511	80,476	79,417	77,959	76,912
処理区域内人口	5,678	5,963	6,165	6,380	6,552
水洗化人口	5,678	5,963	6,165	6,380	6,552
水洗化率 ①	7.0%	7.4%	7.8%	8.2%	8.5%
水洗化率 ②	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※ 水洗化率①＝水洗化人口／行政人口

※ 水洗化率②＝水洗化人口／処理区域内人口

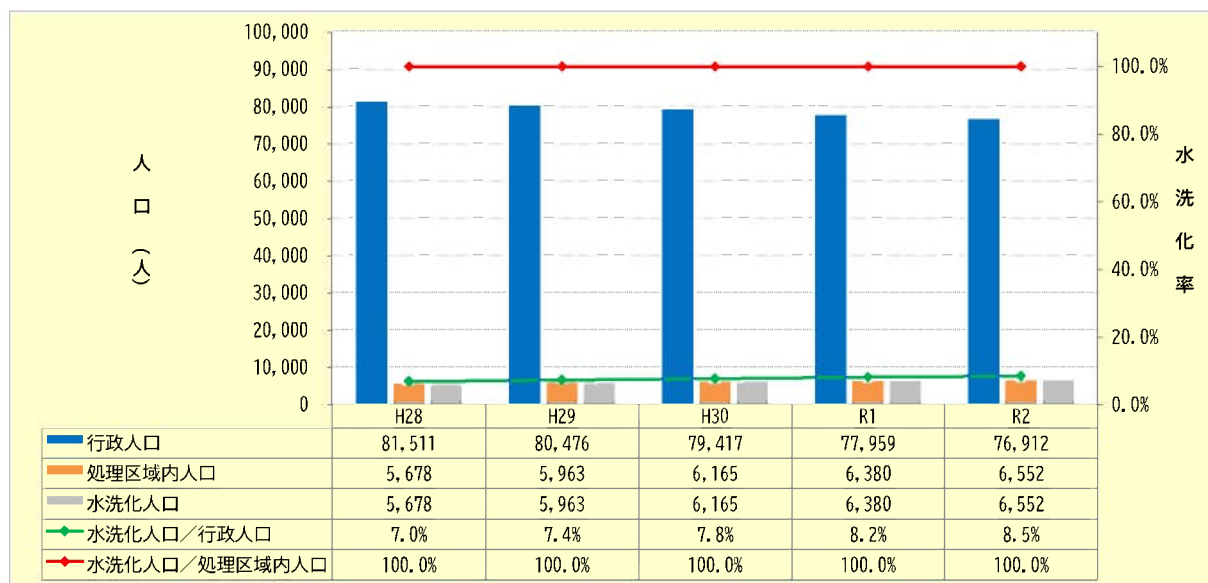


図 1.17 処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率（特定排水）

【個別排水】

処理区域内人口、水洗化人口とも減少傾向であり、整備が完了しているため、今後もこの傾向が続くものと考えられる。

表 1.7 処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率（個別排水）

（単位：人）

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
行政人口	81,511	80,476	79,417	77,959	76,912
処理区域内人口	492	493	486	461	415
水洗化人口	466	467	456	431	415
水洗化率 ①	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.5%
水洗化率 ②	94.7%	94.7%	93.8%	93.5%	100.0%

※ 水洗化率①＝水洗化人口／行政人口

※ 水洗化率②＝水洗化人口／処理区域内人口

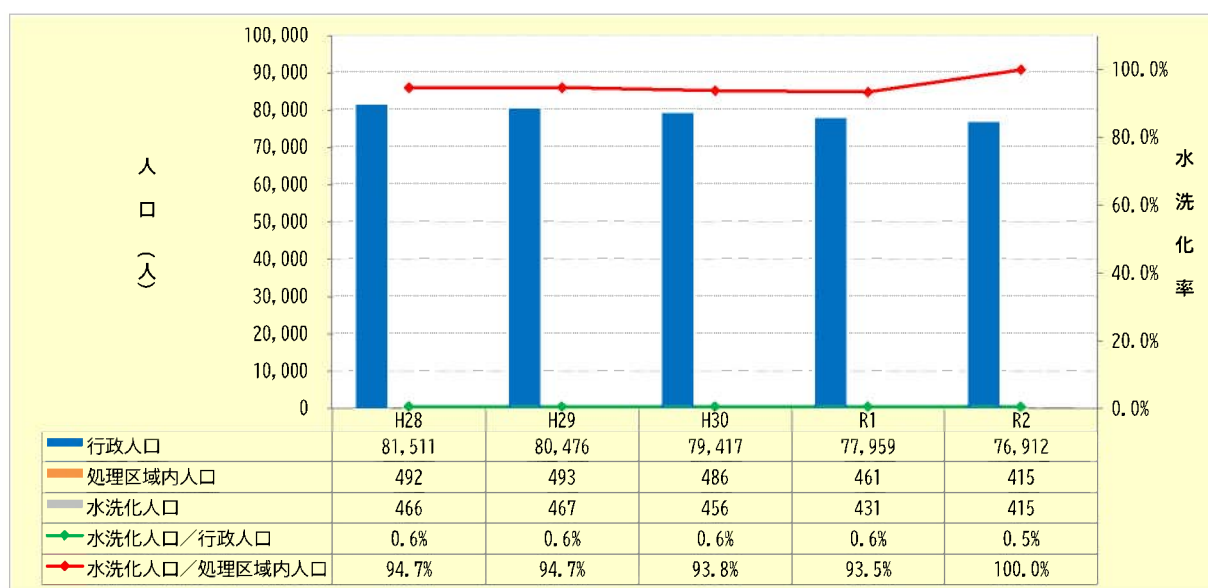


図 1.18 処理区域内人口、水洗化人口、水洗化率（個別排水）

1.3 処理水量、有収水量、有収率

【全事業】

年間総処理水量、年間有収水量とも増加傾向にあるが、有収率はほぼ変化が無い状況である。

表 1.8 処理水量、有収水量、有収率（全事業）

項 目	H28	H29	H30	R1	R2
年間総処理水量 (m3)	5,439,615	5,512,293	5,573,048	5,785,270	5,800,183
年間有収水量 (m3)	4,420,477	4,485,331	4,503,468	4,569,748	4,704,251
有収率 (%)	81.3%	81.4%	80.8%	79.0%	81.1%

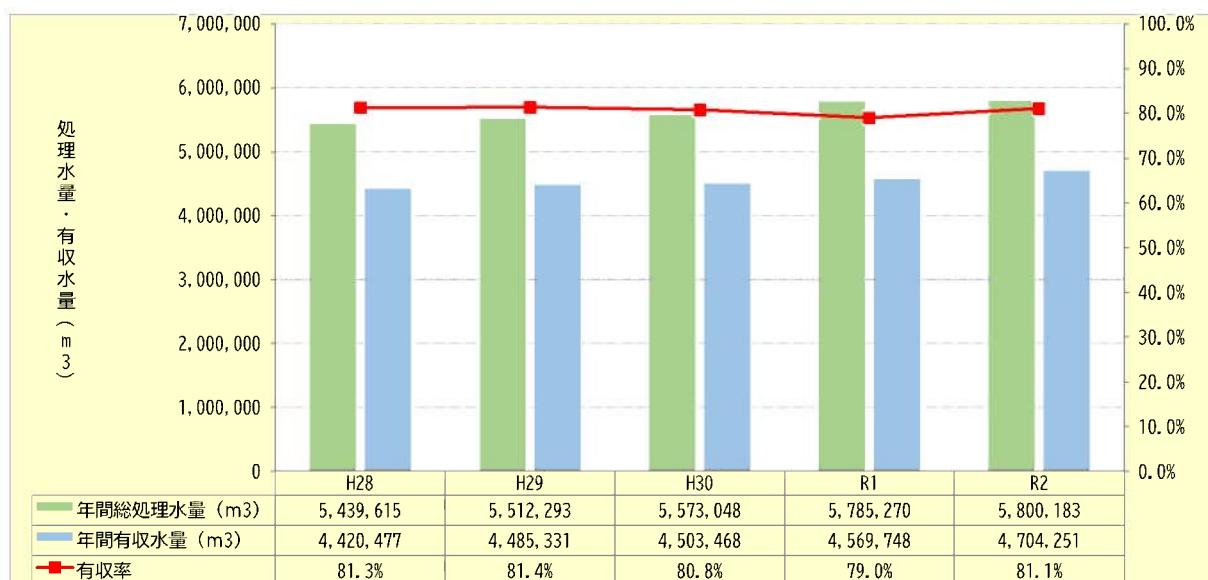


図 1.19 処理水量、有収水量、有収率（全事業）

【単独公共】

年間総処理水量、年間有収水量とも増加傾向にあるが、有収率に大きな変化はない。
有収率の向上が課題として挙げられる。

表 1.9 処理水量、有収水量、有収率（単独公共）

項 目	H28	H29	H30	R1	R2
年間総処理水量 (m3)	2,206,048	2,196,138	2,283,682	2,377,526	2,336,703
年間有収水量 (m3)	1,508,028	1,532,050	1,546,412	1,545,451	1,576,922
有収率 (%)	68.4%	69.8%	67.7%	65.0%	67.5%

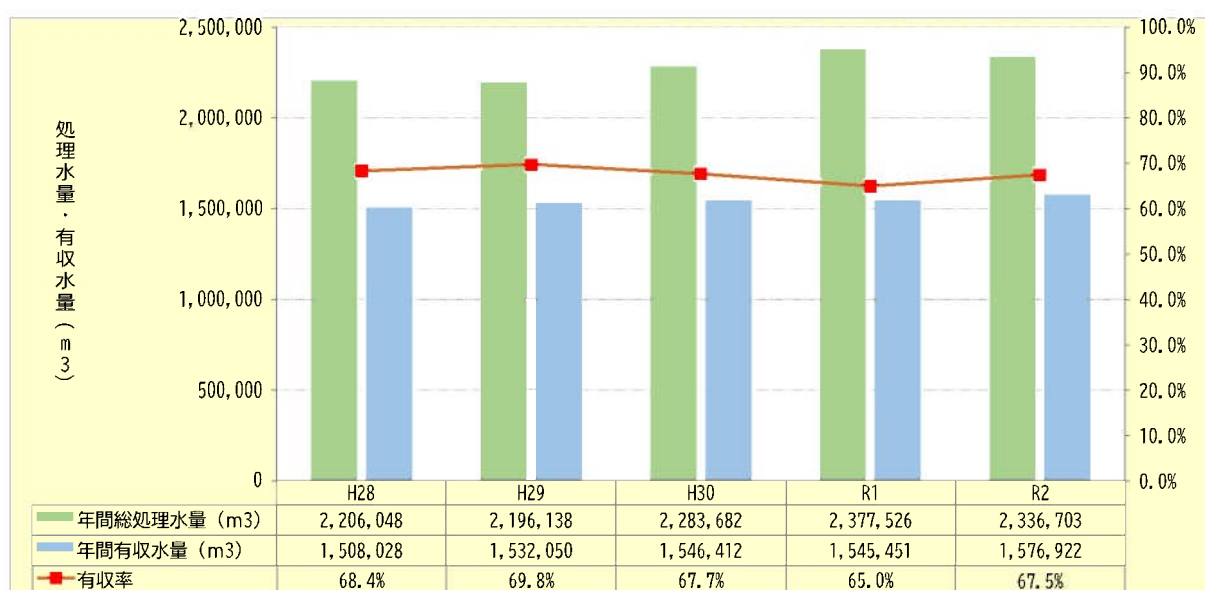


図 1.20 処理水量、有収水量、有収率（単独公共）

【特環公共】

年間総処理水量、年間有収水量とも増加傾向にあるが、有収率に大きな変化はない。
単独公共よりも有収率が高い。

表 1.10 処理水量、有収水量、有収率（特環公共）

項 目	H28	H29	H30	R1	R2
年間総処理水量 (m ³)	1,541,731	1,551,409	1,555,883	1,619,011	1,646,158
年間有収水量 (m ³)	1,332,921	1,329,778	1,314,579	1,349,282	1,406,095
有収率 (%)	86.5%	85.7%	84.5%	83.3%	85.4%

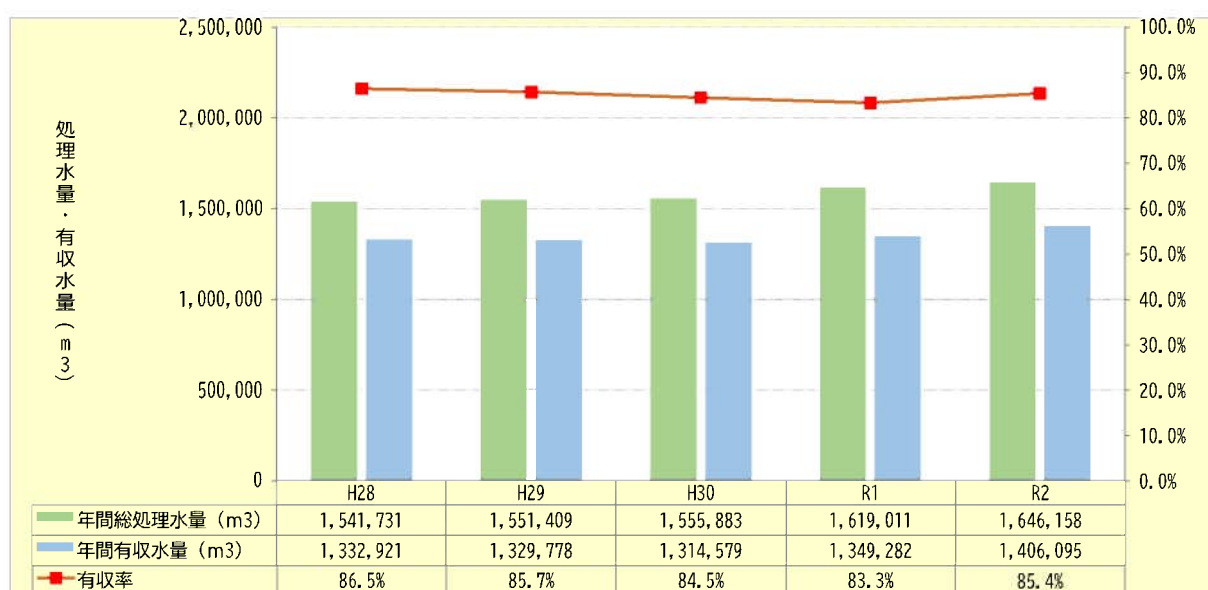


図 1.21 処理水量、有収水量、有収率（特環公共）

【農業集落排水】

年間総処理水量は大きな増減が無いが、年間有収水量は微増傾向が見られる。
有収率に大きな変化は無く、単独公共、特環公共に比べ有収率が高い。

表 1.11 処理水量、有収水量、有収率（農集排）

項 目	H28	H29	H30	R1	R2
年間総処理水量 (m3)	1,306,694	1,356,920	1,302,100	1,336,941	1,332,993
年間有収水量 (m3)	1,194,386	1,215,677	1,211,094	1,223,223	1,236,905
有収率 (%)	91.4%	89.6%	93.0%	91.5%	92.8%

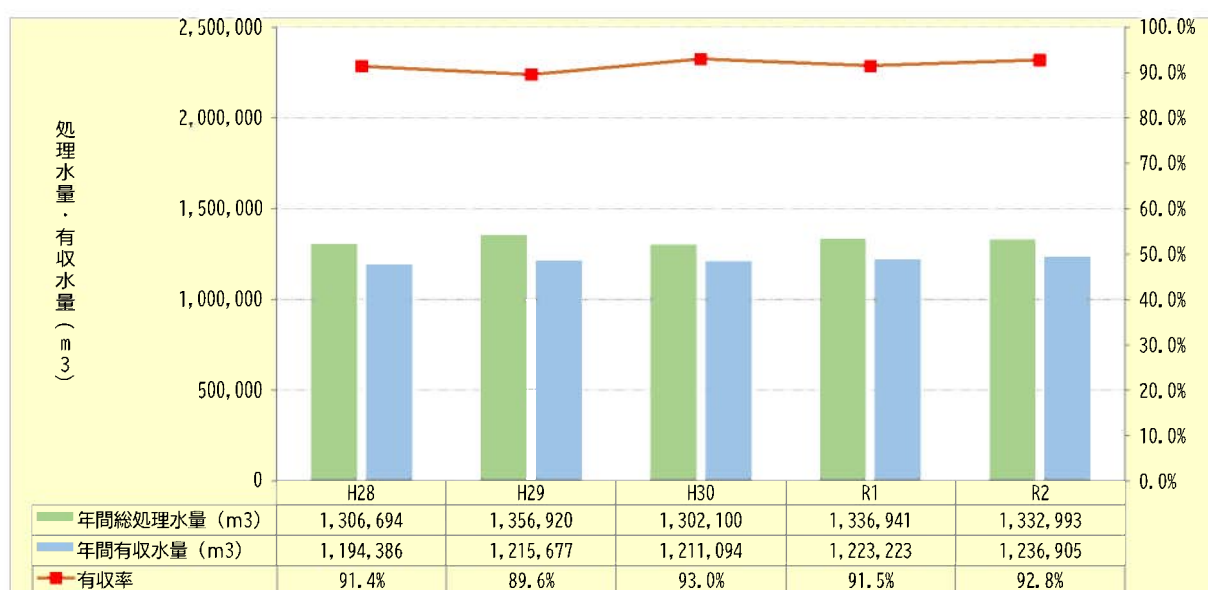


図 1.22 処理水量、有収水量、有収率（農集排）

【特定排水】

現在、整備を継続していることから、年間処理水量、年間有収水量とも増加傾向にある。

有収率は、100%となっている。

表 1.12 処理水量、有収水量、有収率（特定排水）

項 目	H28	H29	H30	R1	R2
年間総処理水量 (m3)	354,247	377,067	400,930	422,059	453,917
年間有収水量 (m3)	354,247	377,067	400,930	422,059	453,917
有収率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

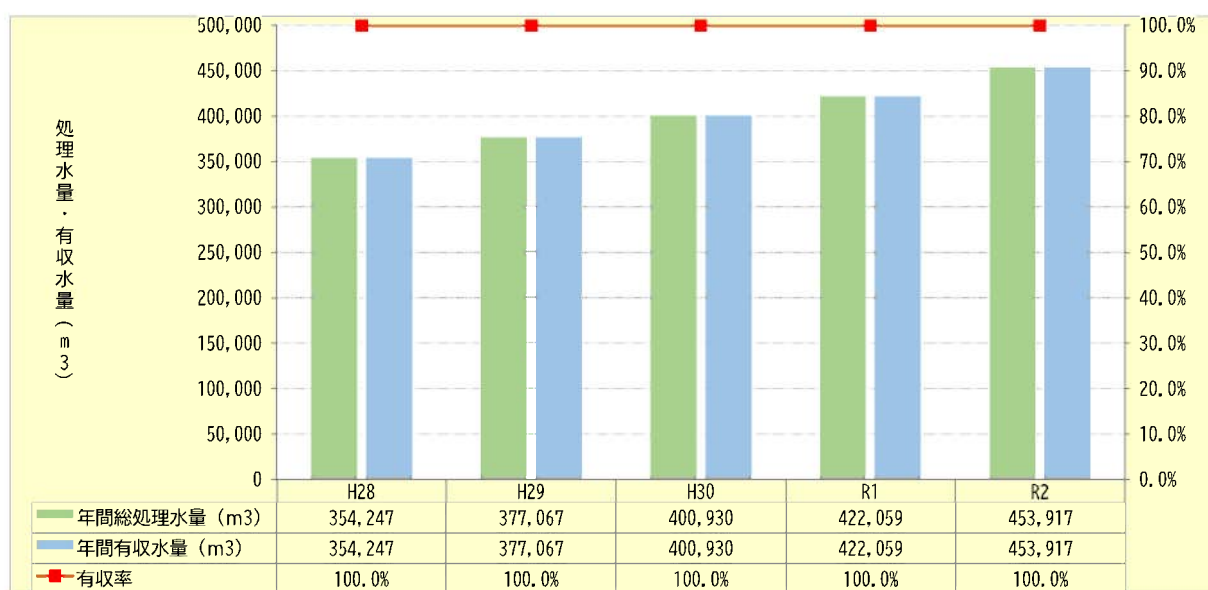


図 1.23 処理水量、有収水量、有収率（特定排水）

【個別排水】

年間処理水量、年間有収水量とも微減傾向にある。

有収率は、100%となっている。

表 1.13 処理水量、有収水量、有収率（個別排水）

項 目	H28	H29	H30	R1	R2
年間総処理水量 (m3)	30,895	30,759	30,453	29,733	30,412
年間有収水量 (m3)	30,895	30,759	30,453	29,733	30,412
有収率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

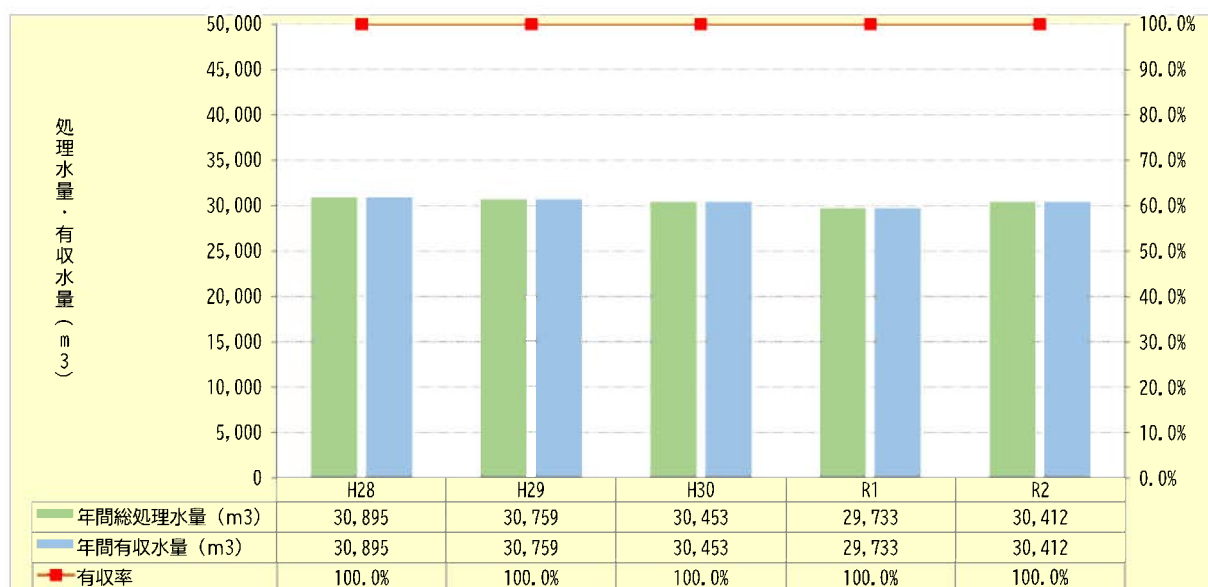


図 1.24 処理水量、有収水量、有収率（個別排水）

1.4 損益

1) 収益

【全事業】

H28年度～R1年度までの総収益は増減があるが、大きな変動は見られない。

営業収益はその大半が下水道使用料となっており、近年減少傾向が見られる。

営業外収益はその大半が他会計補助金（一般会計繰入金）となっている。

なお、R2年度については法適用後のため、長期前受金戻入が計上されている。また、H28年度からR1年度までは税込金額、R2年度は税抜金額、R1年度は打切決算となっている

表 1.14 総収益（全事業）

（単位：千円）

項 目	H28	H29	H30	R1	R2
総収益	2,566,853	2,528,071	2,672,994	2,544,495	3,795,659
営業収益	785,459	801,083	800,693	737,143	763,420
下水道使用料	755,474	764,618	768,410	713,927	742,498
雨水処理負担金	9,679	20,570	10,599	18,990	20,175
その他営業収益	20,306	15,895	21,684	4,226	747
営業外収益	1,781,394	1,726,988	1,872,301	1,807,352	3,026,052
受取利息及び配当金					5
都道府県補助金	95,000	151,700	90,250	60,757	0
他会計補助金	1,647,709	1,484,243	1,714,725	1,645,815	1,610,478
長期前受金戻入					1,403,868
雑収益	38,685	91,045	67,326	100,780	11,701
特別利益					6,187

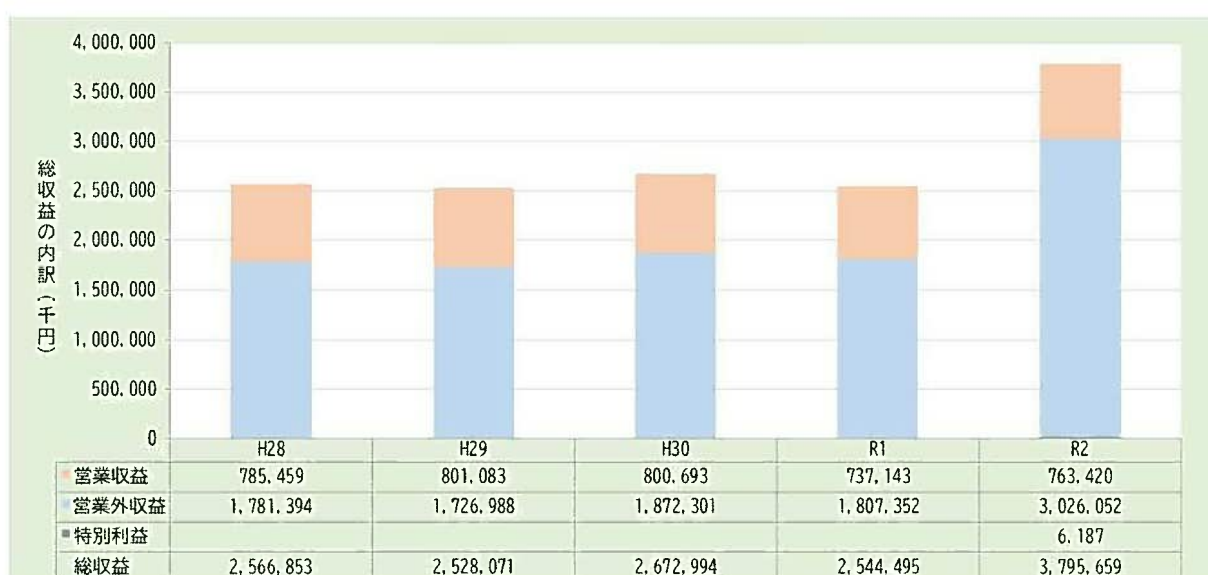


図 1.25 総収益（全事業）

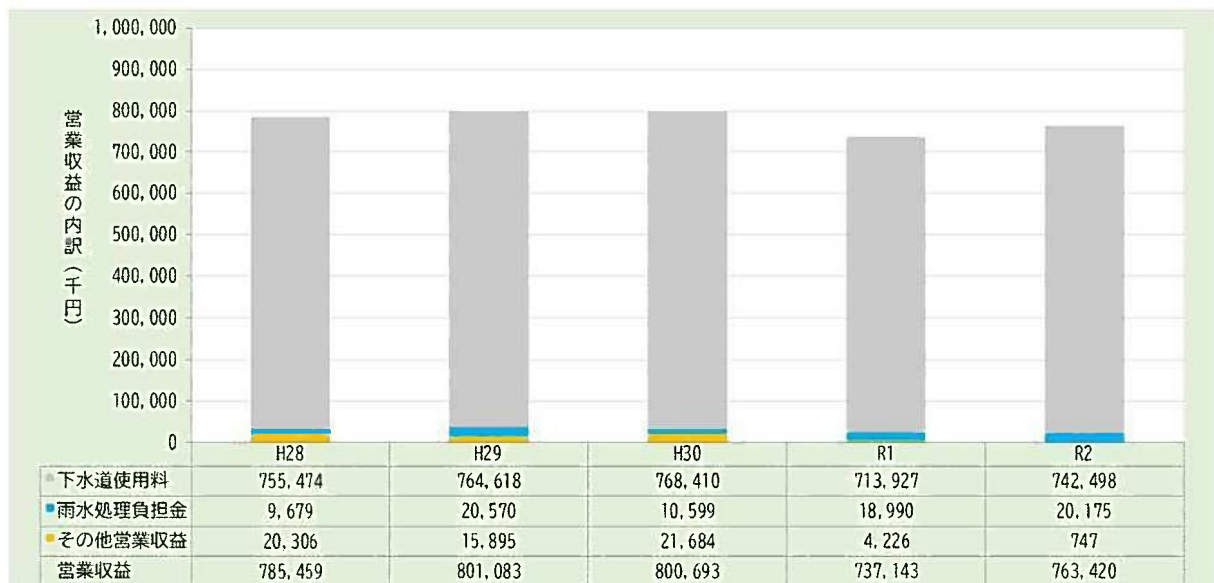


図 1.26 営業収益（全事業）

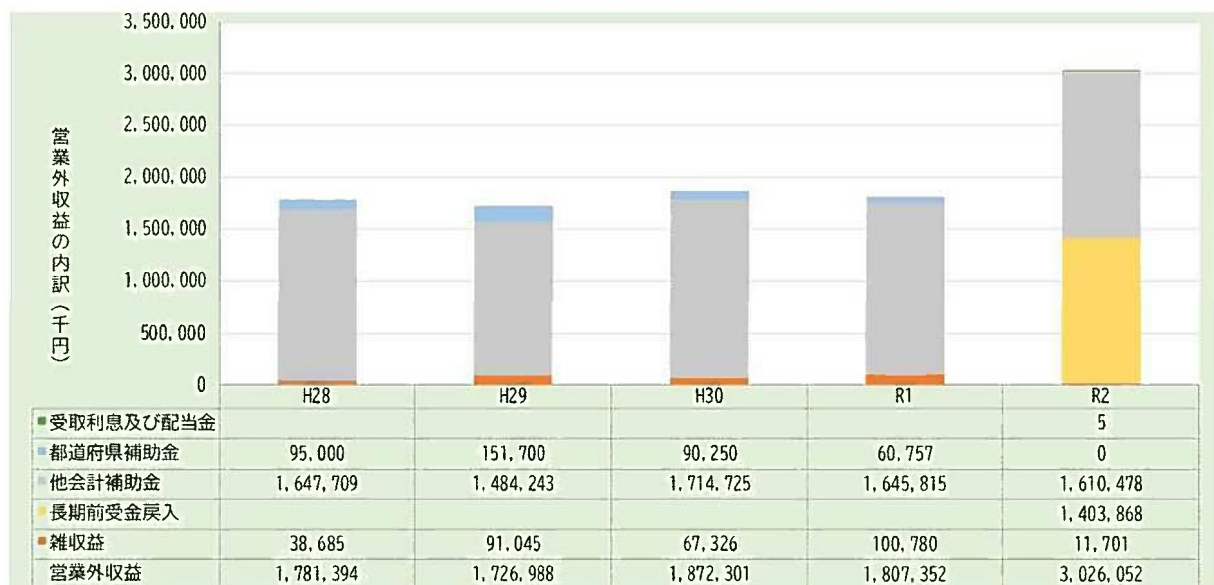


図 1.27 営業外収益（全事業）